

会 議 の 名 称	第1回あま市放課後子ども教室のあり方研究会 書面会議
開 催 日 時	令和4年8月24日（水）
書 面 会 議 開 催 の 経 緯 について	令和4年8月24日（水）に甚目寺庁舎で行う予定としておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、書面会議での開催に変更。
書 面 会 議 方 法 に つ い て	①返信期限（9月2日）を定め、会議資料、意見書を全委員に送付する。 ②事務局は各委員からの意見をまとめ議事録を作成し、全委員へ報告を行い、ウェブサイトへ掲載する。
議 題	（1）令和4年度放課後子ども教室の実施内容について （2）令和5年度放課後子ども教室の実施内容について （3）その他
資 料	資料1 令和4年度放課後子ども教室について 資料2 令和4年度放課後子ども教室実施内容について
公開・非公開の別	公開
委 員 （ 全 1 3 名 ） 意 見 聴 取 委 員	木全（克）委員、井村委員、田邊委員、三木委員、谷川委員、中川委員、石塚委員、川原委員、村上委員、宮崎委員、大西委員、立松委員、内山委員
事 務 局	福祉部子育て支援課

議題1 令和4年度放課後子ども教室について

<p>委員からの意見 及び回答について</p>	<p>【ご意見①】</p>	<p>【児童登録人数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 七宝学区の登録者数が少なく、アンケートを昨年度実施した。アンケートをもとに市として再度どのように進めて行くか何か考えを持っていただきましたか。 ・ 児童登録人数について、甚目寺・美和に比べて、七宝地区の登録人数が極端に少ない。再度アンケート等で実態やニーズを把握するといいいのでは、逆に甚目寺地区の登録者数は多い。この理由についても探っていただきたい。 ・ 各小学校の全児童数のうち登録者数の割合をみてみると、七宝も甚目寺もさほど変わらない。むしろ美和地区が少し多い結果となっている。 <p>【回答①】</p> <p>ご意見ありがとうございます。ご指摘のとおり、七宝地区に関しまして、登録者数は他の地区と比べると少なくなっております。一方、登録者数の割合に関しましては、各地区大きな違いはないものとなっております。七宝地区の登録者数の少ない要因としては、各地区、各学校の規模の違いによるものもありますが、昨年度行った宝小・秋竹小のアンケートでは放課後子ども教室のことを知っているが実態がわからない、体験する機会がほしいとの意見がありました。</p> <p>今年度は、昨年度同様、PTA総会や広報での周知に加え、放課後子ども教室の子ども達とPRポスターの作成を行い、学校に掲示させていただきました。また、周りの友達からの紹介で参加に興味を持ったとの声も年度途中にあり、徐々に子ども達の間での評判も広がっております。各地区、各学校に応じ</p>
-----------------------------	----------------------	--

議題3 その他

委員からの意見

【ご意見】

・ 文科省が推進する「新・放課後子ども総合プラン」では、「子どもの主体性を尊重し、子どもの健全な育成を図る放課後児童クラブの役割を徹底し、子どもの自主性、社会性等のより一層の向上を図る。」とある。

子どもたちの主体性を尊重し、自主性、社会性の向上のために必要な環境や、プログラムとは。地域資源を活用しつつも、子どもたちが自ら考える機会を担保するにはどうしたらいいか。そんな議論がもっと必要だと考える。

・ 「放課後NPOアフタースクール」というNPO法人が、放課後の子どもたちの安心・安全な場での多様な体験と主体的に過ごせる放課後を、日本全国で実現することを目指し活動しています。そこで、お隣の津島市では、「放課後NPOアフタースクール」と連携し、ICTを活用した多様な体験の提供、または地元企業と連携したプログラム開発で活動の一層の充実及び、その成果を市内全域に展開することを目指しているとのこと。あま市でもこうした他市町での活動にも目を向け、学びを参考にしながら、あま市の放課後子ども教室の一層の充実を望みます。